

地域の魅力を引き出す

パブリックアート



『首飾り - 石を持って山に登る』(国東町綱井・祇園山)

市は、芸術を活用した地域振興に取り組んでいます。この度、芸術家の島袋道浩さんをお招きし、市内3か所にパブリックアート（公共空間に設置される芸術作品）を制作。3月27日にお披露目会が行われました。

島袋さんのアート作品は「人々とのコミュニケーション（通じ合い）」を大切にしています。例えば、祇園山（国東町綱井）の作品『首飾り』は、各自が好きな石を持って山に登り、作品に石を置いて重ねることが出来ます。現地を訪れた人が作品を成長させていく余地を残しているのです。

島袋さんは「アート作品が、国東を訪れてもらうきっかけになればうれしいです。普段あまり訪れないような地域の魅力に触れてもらいたいですね」と話していました。島袋さんのアート作品を通じて、国東の素晴らしい景色を再発見してみませんか。

『マノセ』(国見町竹田津・馬ノ瀬堤防)



『息吹』(国東町浜・来浦海水浴場)



いかに現地の風景、魅力を引き立てるか

私のパブリックアートは名脇役を目指します

— 島袋道浩 —



島袋 しまぶく
道浩 みちひろ

プロフィール

1969年、神戸市生まれ。那覇市在住。1990年代初頭より世界中の多くの場所を旅しながら、そこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関するインスタレーション*などを制作している。詩的でユーモアにあふれ、社会や人々を啓発する作風は世界的な評価を得ている。国際展などに多数参加。

*特定の場所に物体や装置などを置いて、空間全体を作品として体験させる芸術手法。



①



②



③

①『首飾り - 石を持って山に登る』(祇園山)。山頂に円形に並んだ石が、山にかけた首飾りに見えます。②『マノセ』(馬ノ瀬)。「自分と向き合う場所に」との思いが込められた、シンプルな言葉だけの作品。③『息吹』(来浦海水浴場)。絶景の場所にポツと立つ外灯が、息をするかのように明かりを点滅させます。④『光る道 - 階段の無い参道』(祇園山)。山頂への参道に設置された手すりが夜間に点灯し、「道」ができます。⑤『光る道』を見つめる人々。光が、まるで宇宙に向かって伸びているように見えます。



④



⑤